

平成27年度 第2回

地域包括支援に関する会議

資料 4

議事

- ・ 地域ケア会議の実施状況について

地域ケア個別会議（地域ケア会議）について
 （平成27年5月から10月までの6ヵ月間の実績）

地域包括支援センター主催の地域ケア個別会議（地域ケア会議のうちの一つ）は、平成26年度、試行して帳票や進行方法を決定し、平成27年5月から本実施した。平成27年5月から10月までの6ヵ月間の実績を報告する。

1 会議について

（1）開催回数

全市で60回（定例59回、随時1回）開催した。

24の地域包括支援センターが、おおよそ2ヵ月に1回ずつ定例開催し、加えて必要時、随時開催することとしている。

（2）出席者

全市で述べ207人が出席した。

事例に関わるヘルパーサービスやデイサービス等の介護保険事業者や、アドバイザーとして区役所のリハビリ職がほぼ毎回出席した。また、必要時、管理栄養士や地域担当保健師等が出席した。

出席者		延べ人数
1	本人	1
2	家族	1
3	民生委員	2
4	地域住民	1
5	通所系サービスの担当者	29
6	訪問系サービスの担当者	33
7	福祉用具事業者	16
8	医療関係者	4
9	理学療法士または作業療法士	58
10	管理栄養士	20
11	地域担当保健師	12
12	その他	30
合計		207

2 検討した事例について

（1）事例数及び選定理由

- 地域包括支援センターがケアマネジメントを担当している事例 59件
- 居宅介護支援事業者がケアマネジメントを担当している事例 2件

会議を主催する地域包括支援センター職員の、自立支援に資するケアマネジメントの実践力向上と運営能力習得のため、現在は、地域包括支援センターがケアマネジメントを担当している事例を主に選定し、実施している。

また、困難事例については、統括支援センターが主催する包括ケア会議（地域ケア会議の一つ）で検討しており、今のところ、会議での検討経験が少ない自立支援の事例を中心に選定している。

選定理由（重複あり）		該当数
1	自立支援の事例（要支援認定者）	58
2	自立支援の事例（要介護認定者）	0
3	ネットワークの構築が必要な事例	1
4	地域課題に関する事例	2
5	困難事例	4
合計		65

（2）実施結果

会議で、課題整理表を提示することで、参加者が対象者の生活ニーズや課題について、理解しやすく、緊急性や実現可能性、優先順位を踏まえた具体的な支援内容を検討できた。

また、会議後は、地域包括支援センターが、支援が適切に行なわれているか、対象者が支障なく生活を送れているかなどの確認を行なった。

（3）地域課題の有無

61事例の内、17件の事例から地域課題が抽出された。

①地域課題有 17件

<抽出された地域課題の例>

- ・近隣に市民センターや地域住民が集える場所がない。
- ・市民センターが、急勾配の坂の中腹にあるため利用できない。
- ・自宅周辺が急な坂道のため外出しづらい。通える範囲にサロンが欲しい。
- ・地域交流デイサービスのあり方（地域での居場所、受け皿づくり）
- ・家族会（精神疾患）等、介護者が介護方法について理解できる居場所が必要。
- ・市営住宅の階段が、下肢筋力が低下した人の外出の障壁となっている。
- ・買い物しづらい地域への野菜等の移動販売は、地域コミュニティの場として有効。
- ・身寄りがなく精神的に不安定な独居の人を支える体制が整っていない。

②地域課題無し 44件

（4）報告

地域ケア個別会議で検討された事例については、区レベルで2ヵ月に1回開催される包括ケア会議で報告を行い、助言を受けると共に、介護保険制度だけでは対応できない地域課題についての共有を行なっている。

3 今後の課題

- (1) 地域ケア個別会議の効率的な運営方法
- (2) 民間の介護支援専門員からの事例を対象とする会議の体制づくり
- (3) 会議で地域住民との連携を検討できるような、日頃からの互助を含めた支援のあり方
- (4) 地域包括支援センターが開催している他の事例会議との整理